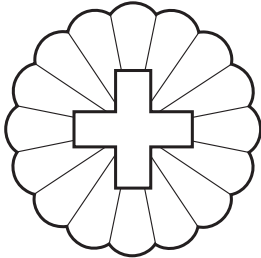


会報

— 17号 —

平成29年 8月10日発行

発行者 黒澤 淳



公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ
指圧師会広報局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町37-4

Tel 03(3252)8811 Fax 03(3252)8813

5月27日（土）に開催された平成28年度決算総会後の理事会で、黒澤淳氏が会長に選任されました。新会長の抱負に満ちたメッセージをお届けします。

新会長就任ごあいさつ

**人びとが健やかに暮らせる世の中のために貢献します
良質な施術提供の研修、学術研鑽に努めます**

公社 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会
会長 黒澤淳



黒澤略歴

「二十で社会人として半導体開発に従事、
三十で鍼灸按摩マッサージ指圧師に転向、
四十で港区にて開院、五十で知天命」
1963年 埼玉県川口市生まれ B型蠍座
1998年 東洋鍼灸専門学校卒
2008年 港区鍼灸マッサージ師会会長
2011年 東京都はりきゅう按摩マッサージ
指圧師会理事 副会長

当会のこれまでの活動

都内各地域での健康相談会実施
厚労省免許保有証普及活動
地域包括ケアシステム参入への取組み
在宅鍼灸マッサージ医療への取組み
伝統古典的技術の研鑽
スポーツトレーナー技術の研修
東北大震災など被災地ボランティア活動
など

当会の歩み

昭和22(1947)年に創立、昭和35(1960)年に社団法人化、平成23(2011)年に公益社団法人認可取得。平成29(2017)年に創立70周年を迎えます。

はり・きゅう・按摩マッサージ指圧は、古くは奈良平安の昔から今に至る長い時の中で、この日本で受け入れられてきた東洋の伝統医療です。更に近代以降、西欧の学問文化を吸収する中で、現代医学の知識を取り入れ未来に向けて沢山の可能性を広げていこうとしています。

私達の置かれている現在は、NO残業デー・週休二日制といえども多くの人が毎日多忙に働く過労社会、急激に進む少子超高齢化など多くの問題を抱える状況にあり、それゆえ日常生活での健康志向や体調管理への関心が高まっています。

いつでも人々が望むのは、健康で安らかな生活ではないでしょうか。本会は、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧事業を通して、東京都に在住在勤の皆様の健康体調管理を応援して明るく楽しい毎日を送っていただけるよう保健福祉・公衆衛生の向上に寄与し社会貢献して参ります。

また、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧業に携わる施術者の技術向上、良質かつ適正な施術提供についての研修、学術研鑽にも努めて参ります。

1人でも多くの人が健やかに笑顔で暮らせる世の中を、古き伝統の上に立ち、今を見据え、未来につなげていきます。

公益事業実施報告

平成29年度東京都委託施術者講習会(前半)が始まっています 「日本を代表する臨床家による 日本伝統鍼灸の真髄を学ぶ！」

東京都委託施術者講習会（前半）は、本年度から事前予約制を採用しました。その旨、専門学校に配布したポスター及びホームページで広報したところ、瞬く間にメール申し込みが定員（約100人～150人）を超え、即時、全5回の予約を締め切りました。本企画が、鍼灸学生、若手鍼灸師のニーズにマッチしている証しと言えるでしょう。予約なしで当日受け入れ可能な人数は、10人以下です。会員を優先致しますので、事務局までご一報ください。

しやくじゆ
■積聚治療～個人の妙技から継承可能な技術体系へ～

——平成29年度第1回東京都委託施術者講習会報告

講座：積聚治療の考え方と基本治療

講師：原オサム先生

積聚会副会長／日本伝統鍼灸学会理事

了徳寺学園医療専門学校講師

日時：平成29年6月18日 午後1時～午後5時

場所：新橋ビジネスフォーラム（港区新橋1-18-21）

梅雨明けを待たず、雨天での開催となった平成29年度第1回東京都委託施術者講習会であったが、会場には例年にも劣らぬ多くの参加者が訪れた。本年度から導入された事前予約制により、受講希望者が早々に定員を超えてしまうという有難くも困難な状況下、当日の混乱も予想されたが、受付で確認を済ませるまでのしばしの間、受講者の方が試飲で配られた「大高酵素」（植物エキス発酵飲料）に舌鼓をうつといった和やかな光景も見られ、幸いにも不安視されたような事態にはいたらなかった。無論、これには関係者及びスタッフの事前準備と努力は勿論のこと、参加者一人一人のご理解とご協力によるところが非常に大きかったであろう。今回参加された皆様に感謝すると同時に、今後とも期待させて頂きたい点である。



今年度で東京都委託施術者講習会の開催も6年目を迎えたが、都師会としては黒澤淳新会長の下、新体制で臨む初の施術者講習会となった。その幕開けとして、講師にお迎えし



たのが、積聚会副会長・原オサム先生である。原先生は、積聚会会長・小林詔司先生に35年間師事し、成城の大蔵鍼灸院にて30年以上施術を行いながら、鍼灸学校においても後進育成のため、精力的に指導を重ねてこられた日本鍼灸界の功労者のお一人だ。本施術者講習会における積聚治療の講義としては、前年度の小林先生に続いてということになる。総じて、今年度第1回目の施術者講習会は、「継承」あるいは「新たな挑戦」という色合いの濃いものとなったように思う。

講習が開始されると、原先生の「鍼や灸を用いることが、東洋医学ではない。東洋の思想、哲学に基づいた治療を行ってこそ、東洋医学なのである」という主張の下、積聚治療の概要だけではなく、太極、陰陽、五行、易といった東洋思想の概念についても、例や図をもちいたわかりやすい説明がなされ、教え子を含む満員の参加者は、一様に真剣な面持ちで先生の奥深い話に耳を傾けていた。

積聚治療は、デリケート、且つ、シンプルな施術法である。言い換えれば、非常に洗練されている。その手順は機能的で無駄がなく、皮膚に接触しているくらいの低刺激の鍼で施術するごとに、小まめな指標（体の圧痛部位）の確認を行なっては、刻々と変化する受け手の状態に対応、調整を施していくものだ。そうすることで、無理なく受け手の「精気の虚」（病の原因であり、生命力の低下のこと）を補っていくのである。

基本的に、施術方針が5パターンに絞られており、そのパターンの分け方は、腹診における痛積（痛み・圧痛）牢積（硬結）動積（腹大動脈の拍動）の部位を元に決定する。腹診は、脈診などに比べ、触診のポイント（対象面積）が大きい。その分だけ容易にしてより細やかな触診ができるのである。その上、受け手に尋ね確認する痛積（痛み・圧痛）部位を最優先としてパターンを選択するため、触診における基礎的な技量・感覚、手順・知識の把握状態などに余程の不用意がない限り、施術者によって選択する施術パターンが異なるというケースはほとんど生じない。（但し、この点に関しては、パターンを決定する腹診の前段階で行う腹部接触鍼によって、受け手のお腹の状態自体が変化してしまうため、施術者の接触鍼の技量によっては施術パターンが異なってくることはある。）パターンの決定後は、それに応じた背部俞穴（決められた背中中の区域）に対し、決められた順に施術を行っていく。

着目すべきは、施術者によって施術パターン（具体的な施術方針）に差異が生じ難いので、積聚治療を行って良い効果が出せない場合、その原因をほぼ手技レベルに限定することができる点だ。これは、積聚治療の大きなメリットの1つだ。他の流派や施術法において、効果が芳しくない場合、反省する原因が、患者の状態把握レベル（四診・弁証など）、施術方針レベル（論治・選穴・配穴など）、手技レベル（取穴・刺鍼など）のどこにあるのか、当事者が明確に自覚できないケース（あるいは、自覚できても、その自覚が間違っているケース）は、非常に多いのではないだろうか。そのような場合、原因をうやむやのまま放置すれば、結果的に貴重な臨床経験を有効な成長材料に昇華できていないと考えるべきだろう。その点、積聚治療においては、悩む必要がない。「良い効果が出せない」＝「手技が下手」なのである。別の言い方をすれば、手技において誤魔化しがきかない施術法なのだ。そのような施術法の修練を積むことは、施術者の手技の実力向上に直結する。ゆえに、積聚治療を行って以前より効果が出せるようになってきた実感があれば、手技レベルは間違いなく向上してきているものと捉えてよいだろう。積聚治療の実践によって培われる技術は、汎用性も高い。なぜなら、どのような施術法を行うにしても、手技における技術は常に有用であるからだ。このような観点から見た場合、積聚治療が、単に一施術法としてだけでなく、鍼治療全般における実技向上の教育プログラムとしても非常に優れていることがわかる。

また、上記の積聚治療の手順でわかるように、この施術法は施術者に対し分析による過度な論理的思考を要求しない。要領さえ把握してしまえば、同様の施術方針の下、誰でも一通りの施術を比較的スムーズに終えることができる。これは、鍼灸師にとって非常に魅力的な要素だ。駆け出しの鍼灸師の間で積聚治療が人気なのも頷ける。ただし、「（見た目の）わかりやすさ」＝「再現のしやすさ」ではないということには十分な注意が必要であろう。実際、積聚治療の施術を見学した場合、その動作や形に関して、見た目からは、熟練者と未熟者の施術を比較してもそれほど違いを感じないという方も多いのではないだ



ろうか。しかし、その効果には明らかに差が生じてくる。なぜだろうか。同じ様にやっているのに、同じ様な効果がでない。これは実に興味深い点であり、同時に極めて留意すべき点だ。

では、積聚治療を行い、より良い効果を上げるにはどうすればよいのであろうか。原先生がおっしゃるには、その秘訣は、「繊細な動作・感覚」と「意識」にあるのだそうだ。一見同じような動作に見えていても、体の姿勢や手・指の細かな動かし方、角度、動かすスピード、圧の強さなどで受け手側が感じる印象は大きく異なる。受け手の感覚は施術効果に反映されるのだ。「手当て」という言葉からもわかるように、患者に手を当てることも治療の一環である。触診では受け手にできるだけ不快感を与えずに、多くの情報（陥凹や隆起、硬さ、湿り気、寒熱など）を瞬間的に知覚しなければならない。腹部の接触鍼や背部俞穴への刺鍼にしても、何気なく取穴しているように見えて、感覚的に得たそれらの情報を活用して取穴しているのである。また、目に見えない技術として「意識（あるいは、気というもの）の作用」がある。同じ動作をしていても、意識の状態やその内容によって効果に違いが生じるというものだ。具体的には、「接触鍼の際に鍼尖を中心として水の波紋が広がるようなイメージを連想する」「背部俞穴への刺鍼の際、実際には鍼が皮膚に当たっている程度でも、鍼尖が体の奥深くまで到達し腹部にまで影響を与えているイメージを連想する」というように、鍼を用いる際、意識を働かせることを積聚会では特に重視している。こういった感覚や技術は、一回一回の施術を集中して丁寧に行うことでこそ培われるもので、施術や患者に対する真摯な気持ちがあってこそそのものであろう。受け手に対する細やかな心遣いが、繊細な動作・感覚を養い、長じて、見えないもの「意識（気）の作用」における技術が養われてくるのではなかろうか。何事も真摯な態度で取り組めば、自然と必要なものが養われてくる。ただし、ある種の突き抜けた効果を上げるには、天賦の才能といった先天的なもの大きいことも事実だろう。だが、共に重要なのは取り組みの姿勢や努力といった後天的なものであって、それは総合的な安定性や底上げ的な向上性に繋がるものである。積聚治療が、創生の人である小林詔司先生一個人の妙技から、継承が可能な一技術体系として現在の様に広く普及されるに至った背景には、小林先生と共にたゆまぬ精進を続けてこられた原先生を筆頭とする愛弟子の方々の存在が欠かせないものであったに違いない。

30年以上も鍼灸教育の第一線に関わり続け、多くの鍼灸師の感覚・技術の向上に貢献してきた積聚会。その業績が日本鍼灸界にもたらしたものは実に大きく、積み上げられてきたノウハウは非常に価値の高いものだ。現在、施術に際して感覚よりも理論を重視する傾向にある中医学が、鍼灸界全体において影響力を強める中、国内外を問わず、日本鍼灸の特徴である感覚を重視した施術技術を継承していく意義は、以前にも増して高いと言える。

今後、積聚会が如何にこの鍼灸界における将来的な重責の一端を担い、その優れた技術の継承と普及に邁進していくのか。信頼と期待を抱かせてくれる講習会であった。

(文責・山下克)

日本を代表する臨床家による**無料**講座

各会場案内図は都師会ホームページでご確認ください。

日本伝統鍼灸の真髄を学ぶ！

平成 29 年度東京都委託施術者講習会

申し込み方法

事前申し込み制です。以下の方法をお願いします。(定員を超えた場合、お断りすることがあります。)

①都師会 HP の申し込みフォームに記入。QR コードもご利用ください。

②住所、氏名、資格（鍼灸師・学生・卒業生など）を記載、都師会あて

メール (toshikai8811@ybb.ne.jp) 送信。

※事前申し込みができなかった場合は、当日会場にて受け付けます。

▼QR コード



第1回

6月18日(日)
13:00～17:00

新橋ビジネスフォーラム(定員90人)
港区新橋 1-18-21 第一日比谷ビル 8F
TEL 03-5843-9169

積聚会副会長／日本伝統鍼灸学会理事
了徳寺学園医療専門学校講師
積聚会会長、小林詔司氏に35年間
師事する

原オサム

太極・陰陽観から生体をとらえる
積聚治療の考え方と基本治療

第2回

7月16日(日)
13:00～17:00

かつしかシンフォニーヒルズ(定員150人)
葛飾区立石 6-33-1
(電話での問い合わせは不可)

日本鍼灸理療専門学校教務部長
経絡治療夏期大学講師

木戸正雄

著書:『変動経絡検査法(VAMFIT)』『脈診習得法(MAM)』『天・地・人治療』
(各医歯薬出版) など

すぐできる VAMFIT(経絡系統治療システム) 入門
基本から素人の一本鍼まで

第3回

8月20日(日)
13:00～17:00

新橋ビジネスフォーラム(定員90人)
港区新橋 1-18-21 第一日比谷ビル 8F
TEL 03-5843-9169

東京九鍼研究会講師
灸法臨床研究会講師

福島哲也

著書:『灸療閑話』(ヒューマンワールド)、『深谷灸法実践講座』(緑書房) など

深谷灸法に学ぶ婦人科疾患の灸治療
『名家灸選』の灸穴について

第4回

9月17日(日)
13:00～17:00

新橋ビジネスフォーラム(定員90人)
港区新橋 1-18-21 第一日比谷ビル 8F
TEL 03-5843-9169

北辰会理事／森ノ宮医療大学講師
奈良市・風凰堂院長

油谷真空

著書:『臟腑経絡学』(主編、アルテミシア) ほか論文多数

入門・北辰会の理論とわざ
詳細な問診から弁証、少数鍼まで

第5回

11月19日(日)
13:00～17:00

新橋ビジネスフォーラム(定員90人)
港区新橋 1-18-21 第一日比谷ビル 8F
TEL 03-5843-9169

いやしの道協会顧問
東洋鍼灸専門学校非常勤講師

大浦慈観

著書:『腹診による「毒」と「邪気」の診察と鍼灸治療』(ヒューマンワールド)、
『杉山真伝流臨床指南』(六然社) など

腹診による毒と邪気の診察と
杉山真伝流の刺鍼法の臨床応用

※都合により、会場変更の可能性あります。直前情報は都師会ホームページもしくは電話、メールにてご確認ください。

お問い合わせ先: 〒101-0042 東京都千代田区神田東松町 37-4 TEL 03-3252-8811

URL: <http://www.tokyo89am.or.jp/> Eメール: toshikai8811@ybb.ne.jp



主催 公益社団法人 東京都 はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会 共催 東洋医学学生交流会

松塾・杉塾 毎月1回開講中

鍼灸の学・術・道を学ばんとする者は来たれ！！

松田博公「『鍼灸の思想』を学ぶ会」 杉山勲「伝統鍼灸基礎講座」

都師会は、会員・非会員の学術研鑽のために、5年前から、東京都委託施術者講習会に加えて、月1回の定例講座を開催しています。思想・哲学の「『鍼灸の思想』を学ぶ会」と治療技術の「伝統鍼灸基礎講座」で、講師の姓名から、松塾、杉塾と呼ばれています。[会員は無料]

詳しくは、都師会HPの松塾・杉塾コーナーをご覧ください。各会場の地図もあります。

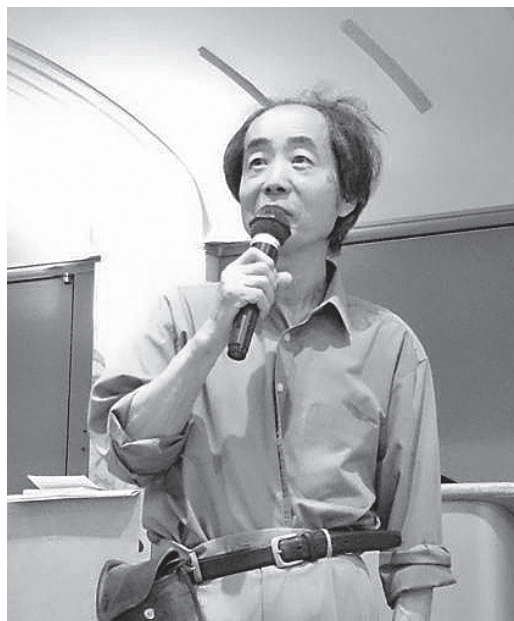
■平成29年度 松塾のご案内

日時 毎月第1土曜日午前10時～12時

会場 都師会会館3階会議室（千代田区神田東松下町37-4）

講師 松田博公（都師会学術担当理事、『黄帝内経』研究家）

講師への直接のご連絡は、メール windhorse@nifty.comへ



アジアの伝統医療である鍼灸、あん摩指圧の思想は、2000年前、『黄帝内経』という書物に結実しました。『黄帝内経』には、中国古代の「天人合一」の宇宙観、自然観、生命観が記述され、中国医学は古代文化の深い智慧から生み出されたことが分かります。しかし、わが国においては、『黄帝内経』の鍼灸技術に関連する部分だけつまみ食いするという方法が行われてきました。それでは、『黄帝内経』に織り込まれた宇宙論的な臨床の知恵を学び、それとの比較から、日本鍼灸の固有性を知ることできません。

本講座は、平成24年8月に開講し、「『黄帝内経』にはなぜ黄帝の名前が付いているのか」「五蔵六府は解剖学的事実ではない」「『黄帝内経』に影響を与えた謎の黄老思想とは何か」「天地宇宙の法則を医療に適用するとは」など、従来にない議論を提供してきました。その作業は、今年度も続きます。

■平成29年度 杉塾のご案内

日時 毎月第1日曜日午前10時～17時

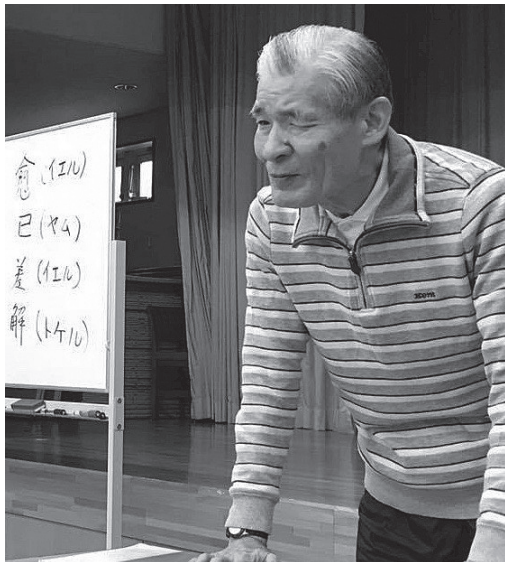
会場 東京都障害者福祉会館会議室（港区芝5-18-2、電話03-3455-6321）

講師 杉山勲（都師会副会長、「大成会」主宰）

講師への直接のご連絡は、電話03（3727）1567へ

開業を目指す鍼灸師のために、臨床技術の習得を目的として作られたのが都師会講座・杉塾です。

せっかく免許を取得しながら、別の仕事に就いていたり、あるいはなかなか自分の思うような治療結果を出すことができずして、困っている鍼灸師は少なくありません。そのような鍼灸師のために、臨床の実力を養う場として、杉塾は活動しています。



今年度は、今までの内容を一新して、まったく新しい試みを行っています。それは、次のようなものです。

- 6月 陰経と陽経の使い分け（終了）
- 7月 軀幹^{くかんけつ}穴と四肢穴の使い分け（終了）
- 8月 鍼と灸の使い分け
- 9月 陰経五行穴の使い分け
- 10月 陽経五行穴の使い分け
- 11月 原^{げん}・郄^{げき}・絡^{らく}の使い分け
- 12月 右と左の使い分け
- 平成30年1月 兪^ゆ穴と募^ぼ穴の使い分け
- 2月 任脈^{にんみやく}と督脈^{とくみやく}の使い分け
- 3月 まとめ

熱意ある皆さんの出席をお待ちしています。